

鉄道の旅

鉄道はその土地の景観をゆっくり眺めながら目的地まで連れていってくれる優れた移動手段です。そして徐々に車両や鉄道網が充実していくと、遠方にでかける「鉄道旅行」が誕生し、個人旅行から学校や会社などの団体旅行まで、あらゆる旅行が盛んになりました。また、自動車や航空機を移動手段とすることが一般化していくとともに、あえて鉄道で旅行することに興味を抱く人たちが登場してきました。それでは、かつての人々はどのような鉄道の旅をしていたのでしょうか。さまざまな資料から鉄道旅行をみていきましょう。



「車窓展望」1958年11月号
昭和33年(1958年) 京都鉄道博物館蔵・提供



「トラベルフォトニュース」通巻123号 「団体旅行に`お座敷車。`」
昭和35年(1960年) 京都鉄道博物館蔵・提供

Nゲージ 鉄道模型 走行展示



観光特急「しまかぜ」
田部富男氏撮影・提供



観光特急「青の交響曲」
林基一氏撮影 近鉄グループホールディングス株式会社提供



特急「ひのとり」
林基一氏撮影
近鉄グループホールディングス株式会社提供



観光特急「あをによし」
田部富男氏撮影・提供



修学旅行専用列車「きぼう」
昭和39年(1964年) 京都鉄道博物館提供

Nゲージ鉄道模型とレイアウト (橋本彰一氏蔵)

特別展示室中央に
Nゲージ
鉄道模型の
レイアウトを
展示します。

鉄道の食

今でこそ、鉄道に乗れば長くても1日程度で目的地に到着しますが、かつては一晩中乗り続けてようやくたどり着くことも珍しくありませんでした。そうすると旅行客は鉄道のなかで食事をしなければなりません。まず思いつくのは列車にある食堂車、つぎに駅構内や車内で販売される駅弁です。では、旅の楽しみのひとつであった鉄道での食事はどのようなものだったのでしょうか。鉄道における食文化を紐解いてみましょう。



「食堂車の御案内 燕号 特急食堂 みかど」
昭和前期 京都鉄道博物館蔵・提供

「御客様へ
みかど食堂から」
一、みかどはお客様に對して親切と丁寧を標榜としてお膳仕上げる爲めに絶へずボーイを訓練して居ります。
一、みかどは御指定の時必ず領收券を差上げますから之を御覧の上お支拂ひ下さいませ、そして御邪魔でも領收券は必ずお持歸りを願ひたい御座います。



特急「富士」食堂車夕食メニュー(食品サンプル)
昭和初期 京都鉄道博物館蔵・提供



駅弁立売箱
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供



汽車土瓶とプラスチック製のお茶容器
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供



食堂車ウエイトレス制服
昭和初期 京都鉄道博物館蔵 提供



竹皮のおにぎり(食品サンプル)
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供